

市長と対談してみませんか？

市では、市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、対談するテーマを設け、市長と意見交換をしてもらう「市民ふれあいミーティング」を開催します。

日時 8月28日㊦ 14時～16時
場所 市長応接室
対談テーマ 「人口減少を少しでも緩やかに・・・」
対象員 市内在住・在勤・在学者
10人



(申込順、ただし申込日初日に定員を超えた場合は抽選)

申込期間 8月1日㊤～8月8日㊤

申込方法 電話または窓口で参加者の住所、氏名、電話番号、対談テーマに沿ったご意見やご提案1つを申し出てください(参加決定後、指定の様式により意見・提案の要旨を秘書広報課に提出していただきます)。

注 意 点 ①個人的な要望や団体交渉はできません。
②同一団体での参加申込は、3人までとします。

お申し込み、お問い合わせは、秘書広報課(3階)

☎(20)1512、FAX(20)1601へ。

市長が行く

新図書館オープン

茂原市の図書館が、昨年10月の台風の影響に遭って以来、市民の皆さまには、長い間ご不便をおかけしておりましたが、この7月20日、ようやく新たな形で茂原駅前商業施設6階に、新図書館としてオープンいたしました。

新たな図書館は指定管理者の運営となり、市の直接の運営ではなくりますが、民間のノウハウを取り入れた今までの以上のサービスが期待されますので、市民の皆さまには変わらぬご利用をお願いいたします。

ここへ来るまでの経緯をご説明しますと、まずは場所選びからですが、以前の場所は、水害に何度も遭い、なおかつ建物自体の老朽化も進み、継続して使うことができるかどうか苦慮しておりました。

以前、ある市民の方から、茂原駅から近くて利便性の高い駅前学習プラザを図書館として利用できるかという提言をいただき、検討してきた

こともあり、昨年水害に遭ったこともきっかけとなって、今回の場所に決まったわけです。

また、運営に関しては、経費削減にもつながり、民間活力の利用という全国的な流れもあって、公募、プレゼンテーション選考の末、図書館流通センターという全国でもかなり実績のある会社を選ばれました。

肝心の蔵書に関しては、今までのものが約10万9千冊置かれ、また新しい蔵書も追加されてきております。

明るくて広々とした空間は、とても気持ちよくご利用いただけると思います。もちろん蔵書数をもっとたくさん揃えた立派な図書館には及びませんが、身近にこういった施設があることは大切なことと考えます。

今NHKの朝のドラマで人気の「花子とアン」のモデルになった村岡花子さんは、戦後のまだ物の乏しい時代に、

No.62

茂原市長 田中豊彦



自宅に私設の小さな児童向け図書館を開き、地域の子どもたちが喜んで利用していたそうです。

その当時は、まだ公立の児童図書館は日本にはなく、一般の家庭でも子どものための本が揃っている家は少なかったそうです。

「子どもたちは本が読みたいのだ。各町内にこども図書館があったら、どんなに喜ばれることか」と、それが彼女の夢でもありました。

今は時代も変わり、活字離れが言われるようになって久しいですが、それでも、読書によって得られるものは大きく、子どものみならず、大人にとっても、誰もが利用できる図書館が身近にあることは大切と考えます。

欲を言ったらきりがなく、不満を言えばたくさんあるかもしれませんが、とりあえず、このように新図書館がオープンできたことは、喜ばしいことだと思っております。